

令和3年度事業計画書

自 2021年4月1日
至 2022年3月31日

公益財団法人 都民劇場

I. 文化芸術振興事業

1. 定期鑑賞会事業の開催

東京都民及び周辺に住む人々が、低廉な料金で演劇、歌舞伎、音楽などの芸術を享受できる機会を提供する。

| | | |
|---------|-----------|--|
| 演劇サークル | 年 10 回観劇。 | 約 60 公演の中から選択。 |
| 歌舞伎サークル | 年 6 回観劇。 | 歌舞伎座を中心に歌舞伎公演の中から選択。 |
| 新劇サークル | 年 10 回観劇。 | 約 40 公演の中から選択。 |
| 音楽サークル | 年 8 回鑑賞。 | 東京文化会館大ホールでの鑑賞。 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により 上期は休止とする。下期は未定。 |

2. 古典芸能鑑賞会の開催

わが国の貴重な財産である古典芸能の「能と狂言」を保護育成することと古典芸能の観客を拡充することを目的に開催する。

古典芸能をより身近に感じていただくために能一番・狂言一番の番組とし、各流派から招き、低廉な料金で開催する。

第 109 回「都民劇場能」

2022 年 2 月 日時未定 会場＝宝生能楽堂

狂言、能＝演目・出演者未定

3. とみん特選小劇場の開催

芸術芸能の中でジャンルを問わず各分野で高く評価されている優れた公演を取り上げ開催する。

4. 映画芸術劇場の開催

好評を得ている歌舞伎公演の舞台を撮影した映画(シネマ歌舞伎)の上映会を開催し、約 400 名(予定)を招待する。

後援＝中央区文化・国際交流振興協会

5. 都民半額観劇会の開催

演劇人口の拡充を目指すため、「広報東京都」で告知し、都内主要劇場の公演を多くの人々に低廉な料金で観劇できる機会を提供する。

東京都・(公財)東京都歴史文化財団・(公社)日本演劇興行協会と本法人の四者共催。

年4回実施する。応募受付は4月、7月、10月、2022年1月。

6. 公式ホームページにて事業概要を掲載する。

II. 青少年育成事業

1. 子供歌舞伎教室の開催

主に中高生を対象に情操教育を目的として日本を代表する古典芸能、歌舞伎を鑑賞する機会を提供する。休日の本興行前の午前9時から10時まで歌舞伎座に於いて年1回開催、約1,800名(予定)を招待する。

会場＝歌舞伎座

共催＝東京都 製作＝歌舞伎座 協賛＝松竹株式会社ほか

2. 公式ホームページにて事業概要を掲載する。

III. 研究会事業

1. 「能楽鑑賞講座」

能に対する理解を深めるため「古典芸能鑑賞会」の番組の解説、及び能楽の歴史等について講座を実施する。

2. 「四国こんぴら歌舞伎」観劇研究会

本年度は公演会場「旧金毘羅大芝居」が耐震補強工事のため開催中止。

IV. 入場券の斡旋、研究調査および定期刊行物の発行

1. 定期鑑賞会及び定期鑑賞会以外の入場券の斡旋販売を行う。
2. 定期鑑賞会事業、特別公演事業等の推進を図るため、アンケート調査を実施し、結果を機関紙「都民劇場」等で公表する。
3. 定期鑑賞会会員向けに機関紙「都民劇場」を毎月1回発行する。